

第3回 市民交流音楽祭開催

～地域住民など約2,000名が来場～

10月28日(日) 地域振興および地域住民との交流を目的に「第3回市民交流音楽祭」を東広島キャンパスの講堂で開催し、地域住民など約2,000名が来場しました。

第1部では、由紀さおり・安田祥子姉妹を招き、童謡コンサートを行いました。「夕やけこやけ」「紅葉」など一度は誰でも聞いたことのある懐かしい曲を、軽妙なトークを織り交ぜながら美しいハーモニーで歌いあげました。また、来場者からのリクエストコーナーもあり、来場した子供から大人までさまざまな曲がリクエストされ、会場は姉妹との直接のやり取りで、楽しいひと時に包まれました。



第2部では、大学の吹奏楽部が3曲、弦楽アンサンブル部と呉弦楽合奏団との合同で3曲を演奏し、その後、全国大会への出場経験を有する東広島市内の黒瀬高等学校和太鼓部と黒瀬中学校吹奏楽部のハイレベルな演奏に会場からは大きな拍手が贈られ、感動的な音楽祭となりました。



広島国際大学 市民セミナー開催

11月4日(日)に、プロ野球解説者の達川光男氏を迎え、広島国際大学市民セミナー特別講演『マスク越しに見える「人のこころとからだ」』を開催しました。約360名の参加があり、達川氏の貴重な体験とユーモアを交えた話題豊富なお話をいただき笑顔が絶えない講演となりました。

また、市民セミナー『シリーズ「心とからだ」』と題して、10月27日(土)に第1回「うつへの理解と予防のために」を心理学部臨床心理学科の森本修充教授、11月3日(土)に

第2回「気分とストレス」 - 気分の調節に関わる「セロトニン」の働き - を薬学部薬学科の石原熊寿教授が講演しました。1回目40名、2回目70名の参加者があり、特別講演と同様に盛況裏に終えることができました。



子供たちから質問を受ける達川氏

